

自宅の家具転対策

「けがをした」普段なら様子を見る、場合によっては病院に行くこともできます。ですが、大地震の際はどうか？

小さなけがでも、手当をしないと悪化する場合があります。まずはけがをしないよう「自宅の家具転対策」を！

①自宅にある物自体を減らす

物・家具類が動いて「人にぶつかる」「逃げ道をふさぐ」「火事の原因になる」ことがあります。

②生活空間の家具類を減らす

リビング（居間）、寝室など、家の中で多くの時間を過ごす場所の家具類を減らし、クローゼット等に収納します

③置き場所・方向を工夫する

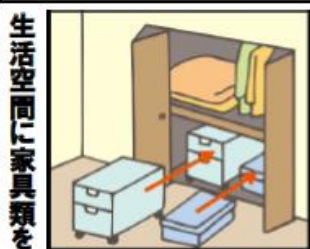
動いても・倒れても逃げ道等を塞がない場所に置くようにします

④適した対策器具で固定する

それぞれの家具類に適した器具で固定します。壁を傷つけない方法もあります（インターネット等を参照）

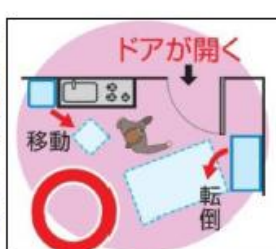
家具転対策（地震への備え）

家具類 地震の際に動いて危険⇒減らす・場所を変える・固定する

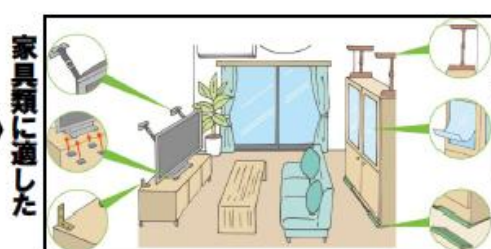


置かないようにする

家具類の置き場所



方向を工夫する



対策器具を設置